

**日本学術会議**  
**経済学委員会ワークライフバランス分科会 議事録**  
**第25期 第2回**

- 1 開催場所                    オンライン
- 2 開催日時                    令和3年9月13日（月）10時00分から12時00分
- 3 出席者（五十音順）        大垣昌夫 大竹文雄 森口千晶 磯谷明德 臼井恵美子 宇南山卓  
   大石亜希子 角谷快彦 永瀬伸子 中村さやか 安井健悟 吉沢豊予子（12名）
- 

**【議題】**

(1) 年度内のシンポジウム開催について

分科会からの2～3の研究報告に加え、外部から招聘して研究報告をお願いする。テーマに含まれるべき内容について以下の案が出された。

- コロナ禍がワークライフバランスや女性の負担・ウェルビーイング・自殺に与えた影響
- 正規雇用者の長時間労働と非正規雇用者の不安定雇用による過少所得
- 育児休業・介護休暇と男女の役割分担や介護者の負担
- ワークライフバランスの子どもへの影響

また、テーマについては以下の意見が出された。

- 分科会としての「見解」、さらには日本学術会議としての「提言」につながる内容としては、ワークライフバランスについての研究のために新たに収集や公開が必要なデータを明らかにすると良いのではないか。
- シンポジウムで研究成果を発表した上で、さらに分析を行うために必要なデータについての議論を行ってはどうか。

(2) パンデミックと社会に関する連絡会議への参加について

大竹委員が参加しており、他の委員も数名が参加を検討中である。

(3) ケアサイエンス分科会シンポジウムについて

ケアサイエンス分科会が主催するシンポジウムを本分科会も共催する。

(4) 学術会議における意見表出について

現時点では特に当分科会としての意見は表明しない。

(5) その他

角谷委員より話題提供として自身の新型コロナ関連研究（ワクチン接種・孤独・孤立対策・経済対策・働き方改革（健康経営）・金融犯罪対策・依存症対策・家族介護）についての報告がなされた。

(以上)